

がんばる
皆さんを応援!

ユウ・アクアライフ -Style Lab-

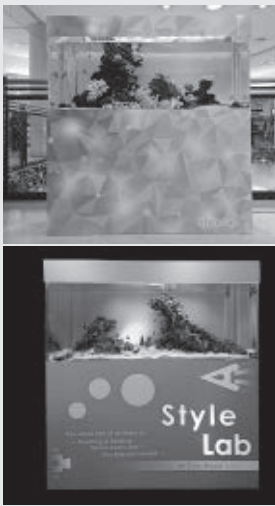
多くの方がイメージする「飼育」の枠を超え、癒しや空間演出、エンターテイメントをテーマに次世代のアクアリウム(観賞魚水槽)をプロデュースする「ユウ・アクアライフ」。

平成20年に創業し、今もなお、富山県内に同業者がおらず、無償生体補償サービスのある観賞魚とオリジナル水槽の販売・レンタル・リースやメンテナンスを行っていることが評価され、平成28年度富山市ヤングカンパニー大賞で「奨励賞」を受賞しております。代表の橋本勇一さんにお話を伺いました。

④ 市場を一から作る面白さ

起業前、橋本さんは大手製薬会社で企画営業を担当していました。出張先の東京で、綺麗にディスプレイされたアクアリウムがあったそうです。

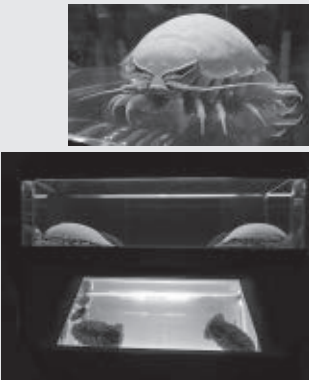
「あるメンテナンス会社のスタッフに、格好良くディスプレイをする人がおられたんです。自分も熱帯魚を飼っていて、その姿に癒されていたし、少数ながら富山でも水槽が置かれていました。けれど、綺麗で格好良いアクアリウムは見かけな



▲ポリゴングラフィックでドレスアップした例(写真上、ファボーレ2階に設置)、企業広告の例(下)

います。安全性を考え、電気系統など見えない部分も毎回しつ

▼ダイオウグソクムシと(写真上)鏡を使った展示(ほたるいかミュージアム)



ショールーム兼デザイン研究室「Style Lab (スタイルラボ)」
富山市塚原141-2
☎ 076-423-7752
<http://www.you-aqua.com/>

い。これは専門業者がいなくても、需要はあるはず。これをビジネスとしてやるのではないかと考え始めました」

橋本さんはその思いを3年ほど温め、平成20年に「ユウ・アクアライフ」を立ち上げました。魚を売るのではなく、非日常の世界と癒しの空間を提供するサービス業です。

「10年経った今ではテレビ番組等でも綺麗なアクアリウムを目にすることが増え、漸く認知されてきたように感じますが、次世代のアクアリウムが設置されているのは東京でもまだごく一部。開業当時、周囲が反対する訳ですよ。でも、ずっと提案型の企画営業をしてきたので、お客様と対面しながら、富山で市場を一から作っていく面白さを感じますね」

④ 水槽全体をトータルで提案

同社が演出するアクアリウムは、病院や介護施設、ショッピングセンター、ホテル、オフィス、イベント会場などで設置されています。

「設置目的・場所・予算に応じて、お魚はストーリーを持たせて選び、水槽やキャビネットはサイズ・素材・デザインをトータルで提案する、オーダーメイドです。お客様には水槽一式をお買い上げいただき、メンテナンス契約をしていただ

かり見て掃除しますが、汚れ落としにそんなに時間がかからない分、私たちは水槽内の演出に時間をかけます。レイアウトを不定期に変化させ、見る方が楽しめるようにしています」

④ 演出家ならではの見せ方

滑川市のほたるいかミュージアムにいる生体を管理しているのは同社です。

「ホテルイカのほかに、メキシコ湾にいた深海生物、ダイオウグソクムシが人気です。この水槽にはあえて砂を敷かず、下に鏡を置いて腹部や足の動きが見えるように工夫しました。水族館等の飼育担当者が『こんな方法があるのか』と驚かれるそうです。普通なら砂を敷くのでしようけど、見えないものをどうしたら見せられるか、私たちは飼育員ではなく演出家なので自由な発想で考えることができるのだと思います。

一方で、水槽内の演出はお魚がしっかりと泳いでいることが前提です。しかし、お客様のところにあるお魚の様子は毎日見ることができません。メンテナンスの時に、先のことを予想しながら対処しておかなければならないので、高レベルな飼育技術が求められるのです」

今では飼育技術に長けたスタッフが2

名加わり、対応エリアは富山県、石川県のほか、新潟・岐阜の一部と関東地区も可能になりました。

④ 命を扱う者としての責任

同社は海水魚、熱帯魚、金魚、国内淡水魚のほか、様々な海洋生物を扱っています。万一、魚が死んでしまっても、お客様には無償で適量を追加する生体補償制をとっています。

「お魚を無償提供していることもあり、命を扱う者の責任として、生体の死亡率を極限にまで下げようとして取り組んでいます。例えば、仕入れ後3カ月前後の間は社内で保管し、移動のストレスを取り除いて、元気な状態を確認してからお客様の水槽へ入れるようにしています。それから、商工会議所の方のおかげで国のものづくり補助金の採択を受け、クラウドを活用して生体管理ができるようになりました。出先でスタッフが生体数の把握ができ、シヨールームで泳いでいる魚の映像をお客様に見てもらえるようになります。営業ツールとしても役立つと思います。これからも、基本はお魚ですが、他にもアイデアを具現化して、社会に役立つサービスを提供していきたいと思っています」

頑張っておられる橋本さんを、当所はこれからも応援します！